

# LEADERSHIP CHALLENGE

## 大隈塾LCレポート vol.1

第1回目の大隈塾リーダーシップ・チャレンジは4月19日（土）20日（日）、ANAインターコンチネンタルホテル東京で行われました。



会場は見晴らしのいい37F

初回は10時からのオリエンテーションに続き、大隈塾OGでもある有吉与志恵さん（コンディショニング・トレーナー）による「仕事に効くコンディショニング」。加圧して一気に筋力を上げるトレーニングとは真逆の、「脱力して肩を小さく回す」だけで、デスクワークで固まった身体がほぐれる、という実演が受講生をまず驚かせました。

### 【受講生のレポートより】

アスリートの身体調整手法が、工夫次第で我々のような一般人のトレーニングに手軽なカタチで取り入れることが出来ている点が全体的な気づきであった。また、「脳の働きの良し悪しが、仕事のパフォーマンスを決定し、その脳を動かしているのが筋肉である為、仕事への悪影響を取り除く為に



も筋肉を整える必要がある」というのが、エネルギーを燃焼し易くする為に筋肉を鍛えるという通常一般の発想とは異なる観点であり、且つ説得力もあり大変興味深かった。

午後から本格的な講義。まず、野田佳彦前内閣総理大臣。コツコツとした努力の積み重ねが10年20年たって生きてくる。消費税の導入への過程は厳しく、世論と立法府の大反対に対する綿密な戦略と関係部署、チームの協働によってもたらされた、とお話いただきました。



【受講生のレポートより】

「チームづくりをするうえでの要諦は？」との質問に対し、「目立つ人よりも目立たぬ人達もしっかり見ること、裏方の人達を労うこと」と答えられたのが一番心に残った。



次は、丹羽宇一郎伊藤忠商事前会長でした。丹羽さんは最初に「努力を抜きに私のビジネスマン人生はなかった」と。アメリカ駐在時に穀物相場で大失敗したこと、そのリカバーのために大量の書籍、記事、論文に目を通し、気象情報を始めとした情報収集と分析によって、逆に巨大利益を会社にもたらしたこと、などリアリティあるお話でした。

【受講生のレポートより】

職場のリーダーになった際の心得として、課員の状況やその家族の状況まですべて把握することが責務であるとおっしゃっていた。また、「弱い人には優しくし、強い人には刃向う」という言葉が印象的であった。これは、自分の気持ちに忠実でいること、自分の価値観を譲らないことを意味するが、なかなか実現できることではない。しかし、丹羽さんの話を伺って、愚直に努力を重ね、周りからの信頼を得ることで、目先の利益を求めめるのではなく、その上にあるものに信念を持って目指していく必要があると認識した。

翌日は、ライフネット生命保険会長の出口治明さんです。出口さん自ら世界史にかんする本をだすほどの玄人はだしですが、これも「読書の積み重ね、勉強の継続」によるもの。「日本が国際競争力を取り戻すためには、あなたがたビジネスエリートがたくさん勉強するよりほかにはないんです」と。

力を抜いて、コツコツと努力を重ね、勉強し続ける。第1回目で学んだリーダーシップは、実にシンプルかつベーシックなものでした。

#### 【受講生のレポートより】

歴史も今の世の中も様々な視点で見て行かなければならない。夫婦別姓制度・日本の財政健全化・源氏と平家の話、全て見方を変えると今までとは別の理解ができるように、縦軸や横軸にどの様な要素を入れるか？が大事である。分析能力の高さに繋がると思う。今後世の中での動きを見るときに試しにやってみたいと思う。

インターネットの技術は相対論、人間の本质は変わっていない（だから歴史から学ぶ）。メーカーに居ると逆の意見もあるのだが、そういう見方もあるのかと思った。特に、ライフネット生命のようなネット生保の経営者が言うのだからなおさら感心した。



第2回大隈塾LCは、ワークショップ（チームビルド）です。加藤登紀子さんの運営する「鴨川自然王国」で、田植えをし、山小屋に泊まり、自然を満喫しながら360度に思考を巡らせます。

大隈塾リーダーシップ・チャレンジレポート vol.1

2014年4月25日発行

大隈塾事務局（一般社団法人ストーンスープ）

村田信之 [mura@ta2.so-net.ne.jp](mailto:mura@ta2.so-net.ne.jp)

169-0051 東京都新宿区西早稲田1-9-19 アーバンヒルズ早稲田207

tel:050-3558-7527 mail:[stonesoup1010@gmail.com](mailto:stonesoup1010@gmail.com)